

京都府立大学大学院生命環境科学研究科応用生命科学専攻
教員募集要項（公募）

令和 7 年 11 月 21 日
京都府立大学大学院生命環境科学研究科
研究科長 古田 裕三（公印省略）

このたび、京都府立大学大学院生命環境科学研究科応用生命科学専攻では教員を募集することになりましたので、下記より応募いただきますようお願い致します。

記

1. 募集概要

本研究科応用生命科学専攻では、人類が直面しているさまざまな生命科学分野の課題に取り組む、人類福祉の向上と地球環境保全のための新技術の開発を目的とした研究と教育を行っています。その中で、大学院・動物機能科学科目群および農学食科学部 農学生命科学科に所属する動物衛生学専門種目では、産業動物を主な対象とし、動物衛生学を集団・個体・細胞・分子といった多層的なレベルで深く探究することにより、農学と医学・健康科学のさらなる融合を促進することを目指して、教育・研究活動の発展を推進しています。近年の当該専門種目では、動物個体を用いた感染実験を基軸としつつ、人獣共通感染症に関するフィールド調査や、人および動物に発生する腫瘍性疾患の病理発生機構の解明にも取り組んでいます。また、これらの疾患に対する予防・治療法の開発と、その社会実装にも積極的に取り組んでいます。特に、ダチョウの母子免疫機構を最大限に活用した独自の抗体作製技術を駆使し、鳥インフルエンザ、新型インフルエンザウイルス、新型コロナウイルス、エボラ出血熱などの新興感染症に対する感染機序の解明と、予防・治療法の開発を国内外の研究機関との共同研究により展開しています。さらに、本学における実験動物の衛生管理、動物実験計画の適正化、ならびに動物倫理に関する全学的な啓発活動も担っています。このたび、動物衛生学専門種目の教育・研究を担当していただける教員を募集します。

2. 職名および人員 : 准教授または講師 1名

3. 所属 : 生命環境科学研究科応用生命科学専攻

4. 専門種目 : 動物衛生学

5. 担当授業科目

大学院 [博士前期課程] : 動物衛生学特論 II、動物衛生学演習（分担）、動物衛生学実験（分担）、バイオビジネス論（分担）など

学部 : 動物衛生学 II、生命科学講話（分担）、基礎生物学 II（分担）、新入生ゼミナール（分担）、物理学実験および同実験法（分担）、農学生命科学基礎実験・実習 II（分担）、農学生命科学専門実験 III（分担）、科学英語 II（分担）、情報処理基礎演習（分担）、生物生産と生命科学（分担）、現代の食糧問題（分担）、博物館実習（分担）、専攻科目演習（分担）、専攻科目実験（分担）、卒業論文（分担）など

6. 応募要件（以下のすべてに該当すること）

- 1) 牛、馬、豚、家禽などの産業動物を対象とした、農学分野での畜産学の教育に主体的かつ積極的に取り組める能力と畜産に関する実務経験を有していること。本学での飼養動物（実験動物を含む）の衛生管理、ならびに動物愛護に基づいた動物実験計画の適正化に責任を持って対応できるとともに、動物用医薬品（向精神薬を含む）の取り扱いに関する知識と経験を有すること。
- 2) 産業動物を対象とした個体レベルでの病原体感染実験に加え、分子生物学的手法や病理組織学的解析、抗体工学等を組み合わせた独自の研究を展開し、動物衛生学分野において豊富な知識と確かな実績を有していること。
- 3) 人獣共通感染症および新興感染症に対し、フィールドワークを重視しつつ、予防・治療に焦点を当てた教育および研究活動に積極的に取り組む姿勢を有すること。あわせて、当該分野における研究成果を社会に還元・実装した確かな実績を有していること。
- 4) 本学下鴨キャンパスには大動物飼養施設がないため、牛や馬などの大動物に関する飼養・教育・研究活動については、精華キャンパスに位置する附属施設および学外の連携機関を活用して対応可能であること。
- 5) 農学生命科学科および大学院応用生命科学専攻の教育・研究理念と目標を深く理解し、教育、研究、大学運営等に積極的に関与する意欲を有すること。
- 6) 外部資金の獲得および研究成果の国際的な発信に積極的であること。
- 7) 博士の学位を有していること。
- 8) 日本国内における獣医師国家資格を有していること。
- 9) 大学院博士前期課程において、教育および研究指導ができる能力を有していること。
- 10) 産学官（公）連携および高大連携に積極的であること。
- 11) 採用後は、本学への通勤に支障のない距離圏内に居住できること。

7. 着任時期 : 令和 8 年 4 月 1 日(予定)

8. 応募書類（A4縦おき、横書き）:

1) 履歴書

- (1) 写真貼付（縦4 cm, 横3 cm）、氏名（ふりがな）、生年月日、現住所、連絡先住所、電話番号、e-mailアドレス、高等学校卒業以降の学歴ならびに職歴・教育歴、資格・賞罰
- (2) 学会活動（所属学会名、役職名など）
- (3) 社会活動（嘱託、役員、委員の名称などとその在職期間）

2) 研究業績関連資料

- (1) 現在までの研究概要（2,000字程度、研究業績目録番号を引用してください）
- (2) 研究業績目録
 - ①博士学位論文、②原著論文（筆頭または責任著者である論文には○印を付けてください）、③総説・著書、④その他刊行物、⑤特許など、⑥外部からの研究費等の獲得状況

3) 主要論文（5編以内）の別刷り各5部（コピー可）

4) 着任後の研究・教育に関する構想と抱負（2,000字程度）

5) 本人について照会することのできる方2名の氏名と連絡先

なお、応募書類は返却しません。選考終了後当方で責任をもって処分します。

9. 選考方法

選考委員会で審議選考し、専攻教授会、研究科教授会の議を経て候補者を決定します。選考の最終過程で、すべての原著論文の別刷り（コピー可）の送付および面接やセミナーなどをお願いすることがあります。その際の旅費等は自己負担していただくことになります。

10. 応募締め切り : 令和 7 年 12 月 26 日必着

11. 応募方法、送付先および問い合わせ先

1) 応募方法

書留郵便または宅配便などの配達記録の残る方法に限ります。表に「教員応募書類（動物衛生学）」と朱書きしてください。

2) 送付先

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5
京都府立大学 大学院生命環境科学研究科 応用生命科学専攻
動物衛生学教員選考委員会

3) 問い合わせ先

京都府立大学大学院生命環境科学研究科応用生命科学専攻
農学食科学部 農学生命科学科 主任 津下 誠治
e-mail : s_tsuge@kpu.ac.jp

12. 備考 京都府立大学では、男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を期待するとともに、男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、業績及び人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。また、ライフイベント（出産・育児・介護など）の発生時に利用できる福利厚生制度を有しています。（参考ホームページ <https://sankaku.kpu.ac.jp/>）